

## 親愛なるマリアニスト家族の姉妹・兄弟の皆様

ローマから心のこもった愛情のこもったご挨拶を申し上げます。

11月11日、12日、13日の3日間、世界評議会は、ほぼすべてのメンバーと会うことができました。また、私たちは、コロンビアのニディア・ロドリゲスさん、エクアドルのソニア・ガラルサさんとオンラインでお会いすることができました。



このパンデミックの時期に経験した不確実性は、私たちをさらに脆弱で傷つきやすいものにしました。そして、この会議は、私たちを団結させる友愛の精神をより強く讃えるものとなりました。今回の会議は“家族”であることの恩恵に感謝する精神で私たちを結びつける友愛をより強く祝うものとなりました。

この感謝の精神に基づいて、私たちは、奉献された信徒であり、パロッティン・ファミリー協会の会長であるドナテッラ・アセビさんの指導による瞑想、祈り、そして省察の一日で会議を始めました。祈りと分かち合いの指針となったのは、「私たちはどうやって一緒に生きていくのか」という問いでした。

ドナテッラは、「フラテッリ・トゥッティ」35番が私たちへの呼びかけを通して、私たちを動機づけました。『どうか「あの人たち」で終わらせず、ひたすら「私たち」でありますように。...どうか、これほどの苦しみが無駄になることなく、新たな生き方へと飛躍できますように。私たちが引いた境界を越えて、すべての顔、すべての手、すべての声を備えた人類として、新たに生まれるために... (回勅 兄弟の皆さん)』

この質問は、私たちが家族として生き、歩くことについて、新しい考え方や夢を持つように促してくれました。また、この質問は、私たちが家族として参加するこの旅において、神は私たちを用いてくださることを思い出させてくれました。また、聖パウロが語るように、私たちが家族として従事するこの旅において、神は私たちのもろさを利用してご自身を現されることを思い起こさせてくれました。『ところで、わたしたちは、このような宝を土の器に納めています。この並外れて偉大な力が神のものであって、私たちから出たものでないことがあきらかになるために。(コリントの信徒への手紙 二 4:7)』

2 日目は、ほぼすべての評議会から寄せられた多くの回答を共有することに費やされました。基本的な問題について、国や地方で何が起きているのかを知り、耳を傾ける重要な機会となりました。養成、青年と召命、宣教、コミュニケーションなどの基本的な問題について、国や地域レベルで何が起きているかに耳を傾け、気づくことができました。

このような考察や交流に時間を割いていただいたことに心から感謝しています。これにより、私たちは、多くの献身と寛大さと創造性で構成されている私たちのファミリーの現実をよりよく理解することができました。私たちは次のように認識しています。つまり、私たちのカリスマ性の美しさと妥当性を示す新しい場所を創造するために、新たな動機が必要であることを認めます。

傾聴と識別の姿勢で、私たちは 2022 年から 2025 年までの次の 4 年間、“家族”としての私たちの生活を活気づける新しい目標を策定しました。

それをこのメッセージに添付します。この目標は、私たちにとって、すべての“家族”に新しい命を与えるという希望を持った活力となる道具です。

私たちは、以下のような他の問題についても考えました。

1. Laudato Si / 「行動の基礎」：教会は、私たちの地球が経験している環境危機に直面して、カトリックの家族、コミュニティ、機関、組織が変化の主体となることを求めています。マリアニスト家族の世界評議会は次のように呼びかけています。「行動の基礎」

(<https://laudatosiactionplatform.org/>) を遵守することによって、各地域での反省とエコロジーへの統合的な取り組みを強く促します。私たちは、私たちのカリスマから、この深刻な危機に対応するように求められていますが、そのための非常に重要な方法は“家族”として共に誓うことです。アメリカのナショナル・カウンスルは、この点で模範を示しています。アメリカのすべての支部が、「行動の基礎」に同意することを決めたからです。

2. マリアニスト・マニフィカト：1 年前、「金曜日のマニフィカト」は「マリアニストのマニフィカト」になりました。このマリアニスト家族の出版物の普及に改善が見られます。より視覚的で、より簡潔な方法で、マリアニスト家族の公約を示しています。正義と平和と被造物の完全性に対するマリアニスト家族の公約をより正確に示すことができるようになりました。コンテンツの収集を担当したチームは素晴らしい仕事をしてくれました。私たちは、このチームに新しい編集者を迎え入れ、私たちの家族が行っているすべての良いことを伝え続けたいと思っています。

3. ラ・マデレイヌ、ボルドー・アジャン：私たちの発祥の地であるボルドーとアジャンにおけるマリアニストの存在の将来は、脆弱で不安定なものです。いくつかの理由がありますが、その一つにフランスにおける召命の減少があります。しばらくの間、SMとFMIの間では、次のような考察がなされてきました。これらの場所が“家族”全体にとって非常に象徴的な価値を持っていることを認識しています。私たちのルーツの貴重な記憶を残しているこれらの場所で、重要なカリスマ的存在であり続けるための新しい道、新しいプロジェクトを見つけるために、マリアニスト家族の四つの枝のすべてを巻き込むことは、必要であり重要であると思われます。

#### 4. カレンダー。

- 2022年3月25日のマリアニストの守護聖祭：FMIによる指導
- 2022年10月9日のマリアニスト世界祈りの日：私たちは、マリアニスト神社のサルス・インフィルモルムで霊的に団結します。2022年10月9日：スカルダフェッロ（イタリア）のマリア聖堂サルス・インフィルモルムで霊的に一つになります。
- FMI総会。ローマ、2022年7月10日～31日
- MLC国際会議。マドリッド、2022年7月23日～30日
- SM上長の指導者会議。ローマ、2022年7月10日～23日
- 世界評議会 ローマ、2022年11月11～12～13日

マリア様の「はい」は、この3日間の私たちの共同生活、反省、祝賀の支えとなりました。

この3日間、私たちは彼女のように、そして彼女とともに、社会、環境、経済、教会など、現代の課題に取り組んできました。

シノダリティとは、親密さ、思いやり、優しさという神の選択肢とその方法そのものを指します。また、人間と共に歩むために肉となったイエスの同じ方法を指します。「言葉は肉となって、私たちの間に宿られた（ヨハネ1：14）」

私たちの願いは、創立者たちがしたように「マリアがしたように、イエスに従う」ことです。

皆様、メリークリスマス、そして良いお年をお迎えください。

世界評議会のために

シスター フランカ・ゾンタ FMI

Sr. Franca Zonta, FMI

JOYEUX NOËL

メリークリスマス

FELIZ NAVIDAD

BUON NATALE



## 2022-2025 年の目標

はじめに

「お言葉どおりに、この身がありますように」

マリアは主の呼びかけを受け入れ、世界の最も深い望みに応え、自分のすべてを主に委ねました。私たちの時代は、マリアニスト家族として、私たちが同じように対応するように求めています。私たちの世界の課題の多くのものは、社会的なものであれ、環境的なものであれ、信仰的なものであれ、さらにはパンデミックによってもたらされた新しい現実を考慮したものであれ、私たちが対応できる多くの機会、さらには新しい機会を提示しています。

世界評議会は、このような時代と、それに対する私たちの対応について考えてきました。シノッドへの新たな呼びかけを意識して次の4年間の“家族”としての活動の指針となる「目的」をいくつか決めました。

## A. 豊かないのちを与えるマリアニストの家庭を目指して

今日の課題と、私たちの家族としての役割についての理解することは、私たちのカリスマ的使命に適切に応えるために、私たち家族の構造と方法論を少しずつ合わせる必要があります。

この目的のために、世界評議会は次のことを行います。

1. 必要に応じて調整し、適応する姿勢で運営方法を振り返る。これには、ファミリーに新しい命を吹き込むために、新しい構造を研究して採用することも含まれます。
2. “家族”への相互支援とより良いサービスのために、各国の「家族評議会」と対話する機会を求める。対話の内容としては、以下のようなものが考えられます。

### 家族協議会の役割

### 家族協議会の構造と組織

### 地域全体に働きかけ、その使命を果たすための能力

カリスマ・ファミリーに属していなくても、私たちのカリスマ性に触発されている他の人たちとの協力関係

## B. 同じミッションの精神に基づくもの

私たちは、2つの優先作業とそれぞれの行動指針を考えます。

### 1. 若い人たち

- a. 若い人たちへの司牧的な働きを促進するために、国と地方の協議会を奨励する。

沈黙と祈りの空間を提供する。

中学校の段階を超えても働きを発展させる。

- b. 国や地方レベルで他のメンバーと協力して作業チームを作り、若年層への司牧の発展を支援すること。この文脈においてすべてのマリアニストの召命を促進する。
- c. 国や地方のレベルで、対話のためのオープンスペースに若い人たちを招く。若年成人との交わりに関する経験と資源を共有する。

2. 正義、平和、被造物の完全性。

- a. 『ラウダート・シ』の精神に従って生活し、その活動に登録するよう、家族のすべてのメンバーと構成員に呼びかけ、奨励する。
- b. 私たちのカリスマと『ラウダート・シ』との関連性を考える。
- c. 『ラウダート・シ』と『フラテッリ・トゥッティ』の精神に従い、マリアの態度に触発されながら、あらゆるレベルの人々の関係を大切にすること。

C. 共通の養成を開発するために協力の機会を強化する。この目標を達成するために、私たちは次のことを提案します。

- 1. 自己変革の過程にあるすべての人に、神学的素養が十分でなくても、養成課程を勧める。
- 2. 各枝において必要とする養成者(formulator)の育成に、それぞれの枝が協力する。
- 3. いつでも、既存の養成組織（コンチネンタル・マリアニスト研究センター、フォーメーションハウス）の発展に尽力すること。
- 4. 私たちのアイデンティティとミッションを強化するために、重要なカリスマの研究を推進する。

以上は、マリアニスト家族の世界評議会で採択されたテキストです。

2021年11月13日（土）に採択されました。